

明日をにんう子のために

第72号 令和4年12月 上三川町教育委員会

人権が尊重される社会の実現に向けて、
町内の小学校で、このような授業をしています

小学校の社会科(6年生)の授業で、児童が人権に関わる内容をどのように学習しているのかを御紹介します。

◇明治南小学校での取り組み (6年生)

- 幕府や藩の政策への不満が高まり、百姓一揆や打ちこわしなどが起こったことについて理解しよう
- 不当な扱いに対する幕府への嘆願書の内容を考えることで、差別の不合理性について考えよう

「このままではいけない」「こんな不当な扱いは許せない」と、世の中の出来事に対して感じる能力は、人権教育における育てたい資質・能力の一つです。実生活での不合理性に気付く力は、偏見や差別をなくす原動力となります。

この授業では、前半で江戸時代に行われた「打ちこわし」や「百姓一揆」の原因について、グラフ等の資料を元に理由を理解しました。後半で幕府への嘆願書を書くことで差別の不合理性について児童それぞれが考えました。



☆児童たちの様子☆

児童たちは、「なるほどね」「なぜかな」と真剣に考え、先生の問いかけに積極的に答えていました。

どんな意見を言っても受け入れてもらえるという安心感が、児童たちの多様な意見を引き出していました。

この時代の差別の現状を知り、人々の苦しみに共感していました。

☆児童の作った「嘆願書」から

○もうこれ以上生活を苦しくさせないでください。もうこれ以上は耐えられません(中略)私たちのことも考えてください。

○私たちに差別をせず、百姓や町人みたいに同じ服や傘を使わせてください。

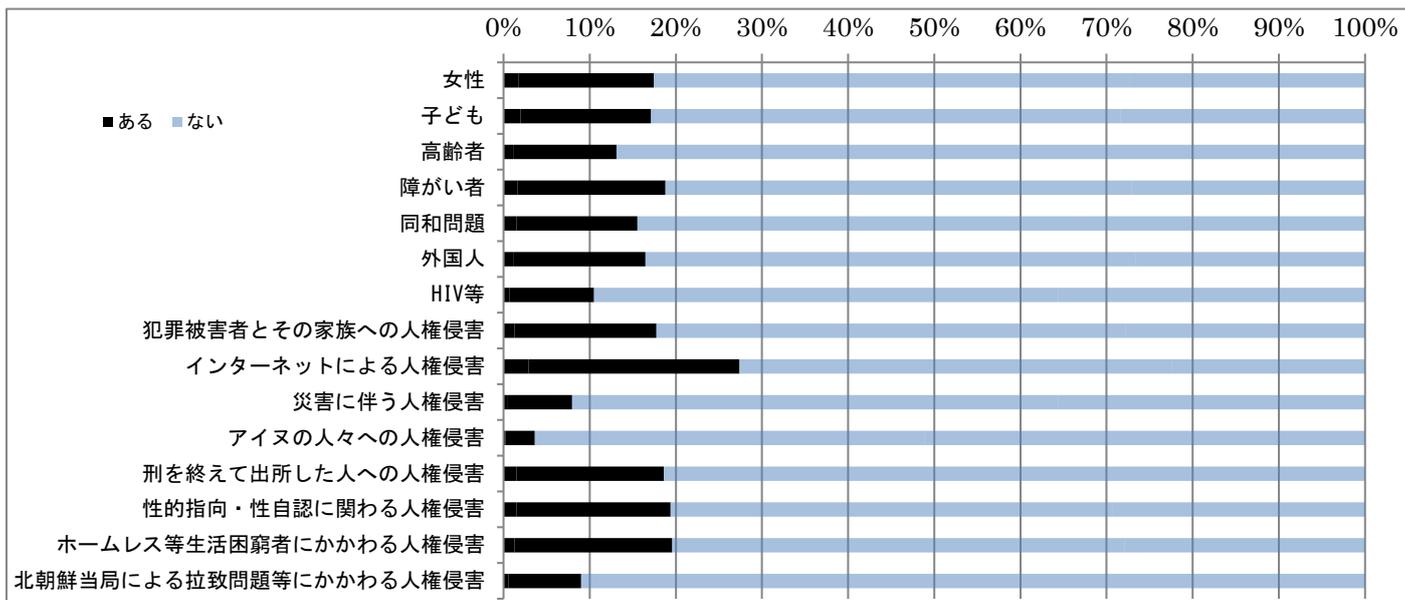
☆児童の振り返りから

○人々は、年貢率の問題や差別が原因で一揆を起こしたことがわかった。

○人々は、厳しく差別されて不満をもち、百姓一揆や打ちこわしなどを行ったことがわかった。



設問1： 上三川町に人権侵害があると思いますか。

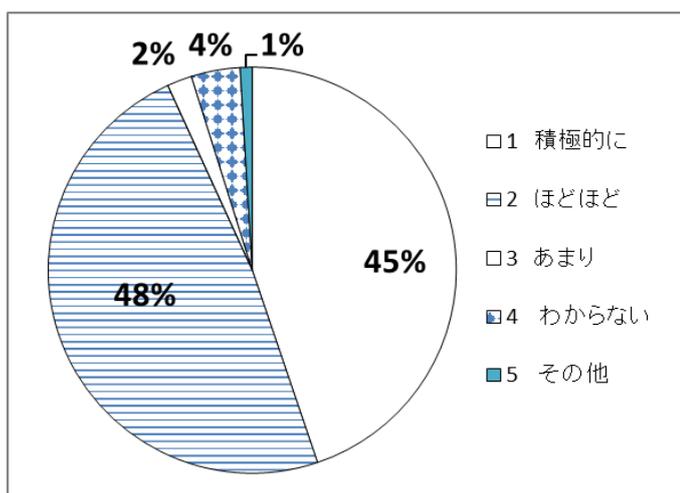


上三川町で、人権侵害があると感じている人は、全ての項目で「ない」「ほとんどない」が50%を超えました。中でも、平成29年度と比べ、次の項目では「ない」「ほとんどない」の合計値が大きく向上しました。

女性77%→82% 高齢者79%→87% 障がい者71%→81% 外国人77%→90%

一方、新しい人権侵害として「インターネットによる人権侵害」の存在が顕著となってきました。誹謗中傷をSNSに投稿したり、個人情報などを拡散したりする事案が問題となっています。

設問2： 学校教育における人権教育は、必要だと思いますか。



人権教育の推進に対する肯定的な意見は、平成29年度同様に、令和4年度も約90%となっております。

学校教育の場では、「人を大切にする。自分を大切にする。お互いを大切にする。」という人権教育の理念を、様々な教育活動において実践しています。

今後も社会環境の変化に伴い、新たに生じる人権問題に対応できるよう教職員の研修を重ね、未来を担う子供たちにとって、より良い生き方につながる教育活動を実践して参ります。

国際平和組織である国際連合は、1950年第5回総会で世界人権宣言成立の日（12月10日）を「人権デー」と決めました。わが国でも、これを受けて毎年12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」として、広く人権意識の高揚を呼びかけています。

人権尊重の社会を実現していくために、わたしたち一人一人が人権尊重の理念について正しく理解し、実践に役立てていくことが大切です。ぜひ、この機会に、ご家庭でも話し合いをしてみてください。

12月4日～10日『人権週間』です。